

月刊東乳商

第568号
第569号
合併号

発行所
東京都牛乳商業組合
代表者 渡邊佳三郎
東京都千代田区神田紺屋町29
神田ISビル 〒101-0035
☎ (5295) 3721 (代表)
FAX (5295) 3724

東京都牛乳商業組合 平成26年6月20日
●URL <http://www.tokyo-gyunyuya.com> E-mail tonyusho@forest.ocn.ne.jp
毎月20日発行・定価1部150円 1年1800円(郵便料共) (昭和47年2月22日第3種郵便物認可)

乳製品宅配管理システム

市乳くん

お求めやすい
価格に
なりました

お問い合わせ、資料請求は **0120-5959-92**
株式会社オシカワシステム <http://www.oskw.jp>

東乳商第54回通常総代会開催

東京都牛乳商業組合は5月24日、千代田区麹町の弘済会館で第54回通常総代会を開催、ご来賓、総代、及び理事・支部長合わせて53名が出席した。

渡邊理事長挨拶

総代会で渡邊佳三郎理事長は冒頭次のように挨拶した。「都普協と共同で実施している「宅配牛乳」愛飲謝恩キャンペーン」を、今年度も継続して実施する予定。前回は東

長に小林昭彦氏(八王子支部・メイトー)を選出し議案審議に入った。

25年度事業報告、決算関係書類、26年度事業計画、収支予算案、定款一部変更、役員改選などの上程議案は全て承認可決された。

総代会終了後、会費制の懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で組合員相互の交流が図られた。

議案審議

議長に八王子支部の小林昭彦氏(メイトー)を選出し審議に入った。

第1号議案

平成25年度事業報告書及び決算関係書類承認の件

第2号議案

平成26年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件

第3号議案

平成26年度借入金残高の最高限度決定の件

第4号議案

役員報酬決定の件

第5号議案

定款一部変更の件



務所を探している。新事務所は「乳販連合会」という名称とし全国牛乳商業組合連合会(全乳連)、日本乳販政治連盟、東京都牛乳流通改善協会(都改協)そして東乳商の4団体が入居予定。東乳商も毎年賦課金収入が減少しているの

4団体が肩を寄せ合っていくと同時に、情報を共有し牛乳消費拡大に一丸となって取り組む、共に発展していきたい。」と挨拶を結んだ。

役員改選では小山重雄監事が退任に伴い、その後任として谷川清長氏(森永、世田谷支部)が新監事に選出された。

小野塚一彦 支援課課長

小野塚課長は「東京都には4200組合があるが、54回の総代会を向かえるところは極めてまれであり、これも役員、組合員、総代のみなさんの努力の賜物と感じた。中央会はグループ戦略、物作り支援、BCP策定支援等の助成事業を推進している。皆様にこれらの制度も含めて情報提供、いろいろなサポートを行っている。是非活用して頂きたい。」と述べた。

森永乳業株式会社市乳販売部

松井 博文 副部長

牛乳販売店を舞台にした小説、婦人公論で連載開始

総代会後の懇親会で乾杯の発声をされた東明協川幡理事長が挨拶の中で、牛乳販売店を舞台にした直木賞作家、山本一力氏の小説「ずんずん」の連載が「婦人公論」で始まった、と紹介した。川幡理事長は「掲載は半年から1年くらい続くよう、単行本化、映像化も期待される。この物語によって、牛乳販売店の存在感が増すことになることを期待している」と述べた。皆様も是非一読してみてください。

東京都牛乳普及協会

大久保 忠宜 専務理事

「4月25日に発表された農水省の統計で昨年度の生乳生産量は744・7万トン、前年比97・9%となり、Jミルクが昨年発表した当初予測前年比99・4%を1・5ポイント下回った。またつい先日安倍政権が発表した産業競争力会議報告で酪農家は創意工夫により付加価値の高いビジネスを創出するため、取引のあり方を見直し、多様化を図ることを求められている。このような厳しい環境ではあるが生・処・販一体となって牛乳の消費拡大に取り組んでいきたい。」と述べた。

第一回理事會報告

5月10日に行われた決算理事會にて、退任を申し出ていた米澤常務理事の後任として、藤田弘光氏を常務理事に選出した。藤田氏は城西第1ブロック長、新宿支部長を兼任する。また米澤氏は理事として中野支部長を継続して担当する。

り組みと考える。

東京都の640万世帯の25%がマンション等の集合住宅であり、オートロック等のハードルが高いが、みんなぞ知恵を出し合いながらお客様との接点を増やす努力をしていきたい。」と述べた。



第37回 通常総会開催

渡邊会長挨拶

東京都牛乳流通改善協会は6月3日、千代田区神田淡路町のホテルジュラクで第37回通常総会を開催、ご来賓、賛助会員及び理事・監事合わせて21名が出席した。

定足数確認報告に続き司会の小沢事務局長が開会を宣言、渡邊会長の挨拶のあと、議長に渡邊会長を選出し議案審議に入った。

25年度事業報告、決算関係書類、26年度事業計画、収支予算案、役員改選などの上程議案は全て承認可決された。東京雪印メグミルク協会の役員改選に伴い副会長を務めた西村氏が退任、同協会から紺野亘洋氏が新理事に就任した。

総会終了後、会費制の懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で賛助会員、役員相互の交流が図られた。



(2) 平成26年度収支予算(案) 承認の件
第3号議案
役員改選の件
第1号から第3号の各議案のすべてが満場一致で原案どおり承認可決された。

ご来賓祝詞(要旨)

東京都牛乳普及協会

大久保 忠宜 専務理事

「昨年10月の乳価値上げ、この4月の消費増税と厳しい状況が続きましたが、消費減退には至らず、平成25年度の牛乳の生産量は前年比99・3%という結果となりました。しかし牛乳をとりまく状況は厳しいものがあり、新潟県のある自治体が学校給食のメニューから一定期間牛乳を除外するとの決定をしたことが報道されました。お手元にお配りした資料は、このことに対する「全国学校栄養士協議会」の意見書です。お読みいただき、ご利用いただければと思います。」と述べた。

雪印メグミルク株式会社乳事業部東京販売課

水野 忠課長

「先日学校給食の牛乳で風味異常の問題を起こし、世間をお騒がせし、皆様にもご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。また直近でも千葉県で別のメーカーが同様の問題を起こしてしまいました。我々メーカーは販売店の皆様方に安全、安心な商品を提供し、それを皆様方がお客様に配達し、お飲みいただいで喜んでいただけるよう、今後とも努力していくつもりですので、今後ともよろしくお願い致します。」と述べた。

議案審議

議長に渡邊会長を選出し審議に入った。

第1号議案

- (1) 平成25年度事業報告
- (2) 平成25年度決算報告
- (3) 平成25年度剰余金処分案承認の件
- (4) 平成25年度会計監査報告

第2号議案

- (1) 平成26年度事業計画(案)承認の件

平成26年度 収支予算書

自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		25年度実績	26年度予算
収入の部	賦課金収入	1,848,000	1,776,000
	賛助会費	840,000	840,000
	全改協運営金	0	0
	雑収入	3,911	4,000
	収入合計	2,691,911	2,620,000
	繰越金	2,452,567	2,558,806
合計		5,144,478	5,178,806
支出の部	事業費	326,525	325,000
	渉外費	23,000	25,000
	諸会議費	330,945	350,000
	事務局費	150,000	0
	事務所費	440,000	480,000
	業務委託費	950,000	960,000
	交通費	108,390	110,000
	通信費	94,009	87,000
	印刷費	3,028	5,000
	事務用品費	5,831	6,000
	交際費	10,000	10,000
	雑費	1,944	2,000
	支出合計	2,443,672	2,360,000
事業外費用 関係団体負担金		142,000	140,000
支出総合計		2,585,672	2,500,000
当期損益		106,239	120,000
来期繰越金		2,558,806	2,678,806

損益計算書

自 平成25年 4月1日
至 平成26年 3月31日

(単位: 円)

支出の部		金額	収入の部		金額
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 事業費及び一般管理費		I 事業収入	2,691,911	賦課金	1,848,000
1. 事業費	680,470	賛助会費	840,000	雑収入	3,911
指導教育事業費	326,525				
渉外費	23,000				
諸会議費	330,945				
2. 一般管理費	1,763,202				
事務局給与	150,000				
事務所委託費	440,000				
業務交通費	950,000				
通信費	108,390				
印刷費	94,009				
事務用品費	3,028				
交際費	5,831				
雑費	1,944				
II 事業外費用	142,000	II 事業外収入	0		
関係団体負担金	142,000				
当期純利益	106,239				
合計	2,691,911	合計	2,691,911		



睡眠は食で改善できるか？

「よく眠り」と牛乳製品との関係

Jミルクは第35回メデアミルクセミナーを3月10日に開催した。今回は、高血圧や糖尿病などさまざまな健康問題との関わりが指摘されている「睡眠」を扱った。食事、とりわけ牛乳製品が睡眠の質的改善につながる可能性について、脳機能と睡眠研究の第一人者として知られる江戸川大学睡眠研究所客員教授、日本睡眠学会理事の白川修一郎氏が講演された。その概要をお知らせします。

睡眠は大脳皮質を効率的にクールダウンする他、筋肉や運動系の休息にも必要である。また、覚醒中に損傷した細胞や心身のシステムを修復し、機能を回復する働きもある。人間にとつては、健康維持と抗老化に最大の役割を持つ生命現象の一つである。

睡眠は量的に不足しても、質的に悪化しても、睡眠負債が蓄積し、健康被害につながる事がわかってきている。睡眠不足や睡眠障害による影響としては、循環器の機能低下（高血圧、脳卒中など）、免疫機能低下・異常（ガン、アレルギー）性疾患発症リスク増大など、代謝機能異常（肥満、糖尿病発症リスク増大）などがある。

例えば高血圧の場合、寝つきがよくない人や睡眠の維持が困難な人は、適切な睡眠を摂る人に比べて発症リスクが2倍近くになることが明らかになっている。II型糖尿病の発症リスクは、入眠困難の人で3倍近く、睡眠維持困難の人は2・2倍に上がる。

脳機能にも影響があり、集中力や注意維持の困難（事故のリスク）、記憶・学習能力、感情制御機能の低下の他、アルツハイマー型認知症発症リスクの増大も知られている。また、うつ症状や自殺率にも密接な相関がある。

100万人以上のサンプルで睡眠時間と健康リスクの関連を見ると、健康に被害のない睡眠時間は6時間30分〜8時間未満となる。睡眠は短すぎても長すぎても健康リスクは高まるが、現代の日本人が注意すべきは、睡眠不足と睡眠負債の蓄積である。平日の寝不足で生じた「眠りの借金」を、休日に長く眠ることで「返済」するような生活のリズムの人が増えている。

睡眠は本質的に食と密接に関係しており、栄養バランスの良い食事を規則正しく摂ることは、睡眠の改善につながる。眠りの質を高める効果のある栄養素としては、トリプトファンやメラトニン、グリシンテアニンなどが知られている。牛乳はトリプトファンを多く含む食品の一つで、飲用頻度の高い人ほど朝型（早寝早起き）で、頻度が低くなると熟眠型（減り、不眠型の人が増える）が実験から明らかになっている。トリプトファンとビタミンB₆の摂取は、睡眠の質的改善に作用するメラトニンの分泌を促す。牛乳製品を毎朝摂取することで、夜に十分な量のメラトニンが供給され、睡眠が改善するというメカニズムが考えられる。

また、睡眠中に分泌される成長ホルモンを有効に活用するためには、夕食で良質なタンパク質を摂取することが重要。睡眠の機能を高めるとい意味では、牛乳製品を朝だけでなく夕食でも摂ることをおすすめしたい。

国内外の最新の研究データから、牛乳製品が睡眠の改善に関係している可能性が見えてきた。本格的な研究はまだ始まったばかりで、今後より明確なエビデンスが出てくるものと考えている。

（Jミルク資料より）

へお詫びと訂正

4月号のタイトルは「安心して飲める牛乳のために」でした。お詫びして訂正いたします。

平成26年度東乳商研修一部日程決定

今年度の研修日程（一部）が決まりましたのでご案内します。ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」。この和食の調理に牛乳・乳製品を取り入れた「乳和食」を広く世の中に紹介している小山浩子さんを講師にお招きし、「乳和食で減塩食生活」をテーマ（仮）に、今回の研修を企画しました。

今回の研修は販売店主のみなさんだけでなく、奥様、お客様、ご友人、できるだけ多くの方々に聞いて頂きたいということで、広い会場を用意しておりますので、是非多くの皆さんの来場をお待ちしています。

- ・平成26年9月27日（土）15時から（受付開始14時30分）立川商工会議所 多摩1〜3ブロック
- ・平成25年10月18日（土）18時から（受付開始17時30分）中野サンプラザ 城西、城北、城南、山手ブロック

詳細は往復ハガキにてご案内します。城東、中央ブロックの研修会は11月15日を予定しています。会場が決定次第、ご案内します。

東乳商は今月末に新事務所に移転します

東乳商事務所（現在都改協と同居）にさらに全国牛乳商業組合連合会（全乳連）、日本乳販政治連盟から同居の依頼があり、現事務所（神田紺屋町）では手狭となるため新事務所に移転することとなりました。また同居後は新事務所を「乳販連合会」とし、今後も関連団体の同居の申し入れがあればこれを受け入れて、各団体の事務所費の軽減と、情報共有を進めていきます。また新事務所はスペースにゆとりがありますので、年に2回ほどは常務理事会に各支部長にも参加いただき、活発な論議をしていただく場としていきます。

＜東乳商新事務所＞

住所 〒101-0032 千代田区岩本町2-11-3 第8東誠ビル7階
TEL：03-5809-1776 FAX：03-5809-1786
交通 JR神田駅東口下車8分（平成通りを昭和通方向へ進み昭和通を越えて次の信号を右折、80M左側）
面積 25.82坪（85.2m²）

葬儀支援サービス

実績 ◎制度発足22年 ◎年間葬儀件数5,000件以上

当制度は、組合が組合員のために取り入れた福利厚生サービスです。

メリット1 葬儀費用の軽減

葬儀に必要な「基本セット」(全国平均40万円相当)が**24万円**(税別)でご利用になれます。

■ご提供される基本セット(例)



※会場使用料、会葬礼品や飲食・料理などの接待費、寺院関係費、火葬料等は基本セットに含まれておりません。 ※葬儀社や地域によってご提供できる基本セットの内容と異なるケースがございます。

■対象者と基本セットご利用料金

対象者(ご葬儀の対象となる故人さま)	ご利用料金
●組合員本人 及び その配偶者と子女 ●(組合員本人 及び その配偶者)の両親・祖父母	24万円 (税別)

メリット2 国内最大の葬儀ネットワーク

北海道から沖縄まで504加盟葬儀社、2,400を超える斎場施設で全国をカバーしています。

全国の加盟葬儀社・斎場を検索できます。

■全国儀式サービスホームページ <http://www.gishiki.co.jp>

●葬儀のご手配、事前の相談・お見積り・資料請求はフリーダイヤルへ

株式会社サービスフリーダイヤルセンター 24時間 365日対応 0120-421-493 通話料無料

急な代配 & 配達スタッフ育成の即戦力!!

OS・端末を問わず使える 宅配ルートマップ作成システム

代配くん

システム青葉はいつも明朗会計

利用料は なんと! 月額 2,500円〜(税別)

電話無料 受付時間 月〜土/9:00〜18:00 0800-111-8000



ホームページからお問い合わせ頂けます s-aoba.co.jp